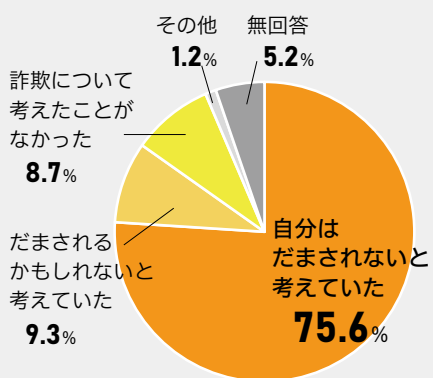
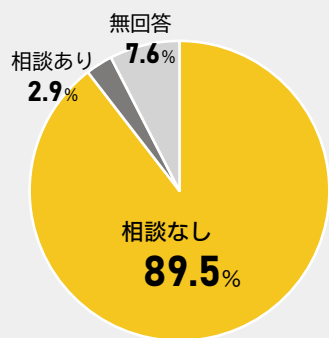


詐欺を寄せ付けない！」そのために。

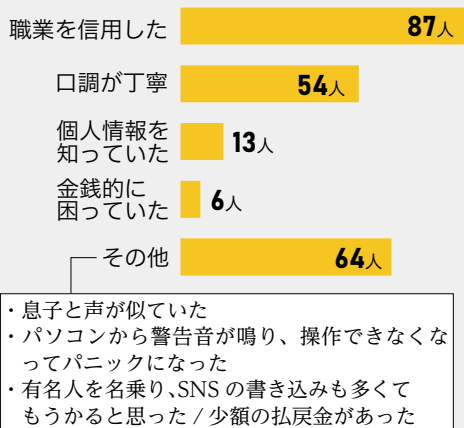
特殊詐欺に対する意識



被害時の第3者への相談状況



犯人の話を信じた理由（複数回答）



令和5年中の特殊詐欺被害者に対するアンケート調査より（長野県警察実施）

## 詐欺に遭いやすい人は？

県内で令和5年中に被害に遭った人を対象としたアンケート結果では、被害者のうち約8割が「自分はだまされないと考えていた」と回答しています。理由は「見破る自信があった」が約4割、「自分には関係ないと思っていた」が約5割で、過信している人や無関心な人ほど被害に遭いやすいと言えます。



## インタビュー

安曇野警察署 生活安全課  
矢口 護 さん

## 私たちにできる対策は？

まずは手口を知り、アンテナを立てておくことです。最新の手口や注意すべきキーワードを知り、疑い感度を上げることが大切です。

一方で、オレオレ詐欺は約8割、還付金詐欺は約6割の人が手口を知っていたにも関わらず被害に遭っています。詐欺の存在を知っていても、いざ自分の身に降りかかると冷静さを失い、うのみにしてしまうのです。被害者の実に9割が誰にも相談せず被害に遭っています。自分だけで判断し解決しようとしてはいけません。電話やメッセージを受けて行動する前に、家族や知人、警察に相談してください。周りに止めてもらうことが有効な手段です。

また、家族ができることは、普段からコミュニケーションを取ることで

## 地域の人ができることは？

す。気軽に相談し合えて、様子を知っている関係であれば、「この間まで元気だったのに変なことを言っている」「様子がおかしい」とちょっとした異変を感じ取れます。親と離れて暮らしているなどの場合は、特に気にかけてもらいたいです。

令和5年中、県内でコンビニ店員や金融機関職員がお金を振り込む場面や電子マネーの購入場面で声を掛け、332件の被害を未然に防止しています。皆さんも、ATMやコンビニで通話しながら操作していたり、慌てた様子の人がいたら、「どうしましたか？」などと話しかけ、詐欺の疑いがないか気にかけてもらえるとうれしいです。家族の力、地域の力で詐欺に遭わないまちを目指しましょう。

# あなたのすぐそばに迫る危険

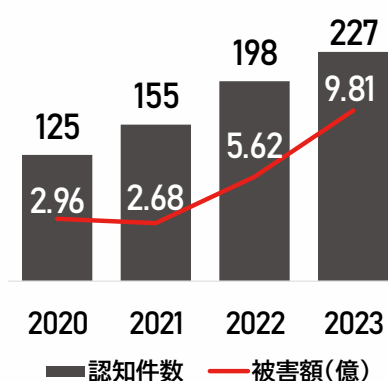
全国で多発する特殊詐欺。新しい手口が次々と現れて多種多様化し、甚大な被害が発生しています。市内でも今年、約1億円をだまし取られる被害が発生しました。「まさか自分がだまされるとは…」はすぐ身近にあります。今回の特集では詐欺の手口や対策を知り、自分たちにできることを考えます。

## 1日の被害額は1億2千万円！

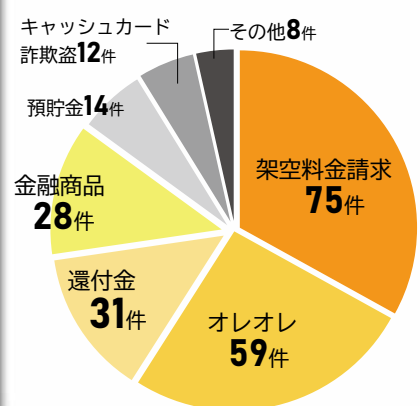
昨年、全国で発生した特殊詐欺の件数は1万9033件、被害額は441億円を超え、過去15年間で最悪の数字になりました。これを1日あたりに換算すると、1億2000万円を超える被害が発生していることになります。県内での被害も9億8000万円を超え、前年の1.7倍以上と大幅に増えました（図1）。今年は昨年をさらに上回るペースで被害が拡大しています。市内でも毎年被害が発生しており、決して人ごとではありません。

県内での被害の内訳は、未払いの料金があるなどと話し、金銭をだまし取る「架空料金請求詐欺」が75件と最も多く、このほか還付金詐欺や金融商品詐欺が増えています（図2）。また、SNS等を通じて投資を勧め、投資金名目や手数料料

【図1】県内の特殊詐欺発生状況



【図2】県内の特殊詐欺の種類



名目で金銭をだまし取る「SNS型投資詐欺」や、恋愛感情や親近感を抱かせて投資に誘導する「SNS型ロマンス詐欺」が新たに現れ、被害が拡大しています。特殊詐欺というと高齢者が狙われるイメージがありますが、架空料金請求詐欺など、インターネットを通じた詐欺により、比較的若い世代も被害にあっています。年齢に関わらず誰もが狙われる危険があるのです。

被害の約6割が自宅への1本の電話から始まっています。詐欺の存在を知っていても、電話に出たことで犯人の話を信じてだまされてしまうのが怖い所。「自分は大丈夫」と予防策を講じなかったり、無関心でいたりすることで、被害に遭う可能性が高くなります。日頃から関心を持ち、「もし自分が被害に遭いそうになったら・・・」と対策を考えることが大切です。

令和5年に5回  
通算13回防止!!

## 令和5年中県内で最も多く特殊詐欺の未然防止に貢献したコンビニ・セブンイレブン明科七貴店

株式会社S & S.CVS 代表取締役 望月 庄三 さん



一定額以上の電子マネー購入客には必ずチラシを見せ、詐欺に心当たりがないか声を掛けています。つい先日もし声を掛けて、「大丈夫」と言うので販売したところ、「番号が違うと言われた」とすぐに電子マネーの再購入に来た方がいました。話を聞いてパソコンのサポート詐欺と判断し、警察に通報。被害の防止につながりました。レジに掲示している詐欺防止の表彰状を見てATMで振り込む直前に相談してくれたことで被害を防止したこともあります。

被害者は皆慌てた様子で冷静さを欠いています。そこで私たちが一声掛け、話を聞くうちに落ち着くこともあります。警察沙汰にしたいくないと言う方も多いので、「任せてください」と安心してもらい、警察との架け橋となり、未然防止に努めています。

1人で解決しようとするのは犯人の思いつくばです。後ろめたさがあり家族に相談しづらい、まして警察に連絡するのは勇気がいる。そんなときは支払う前にコンビニで相談してください。